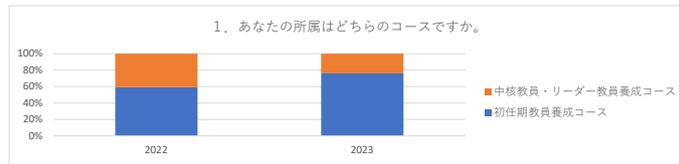


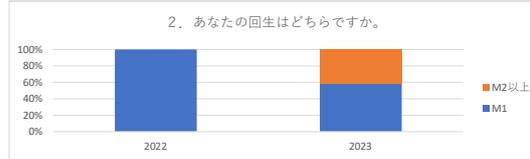
1. あなたの所属はどちらのコースですか。

選択肢	回答	2022	2023
1	初任期教員養成コース	13	38
2	中核教員・リーダー教員養成コース	9	12



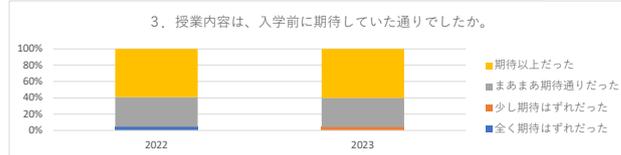
2. あなたの回生はどちらですか。

選択肢	回答	2022	2023
1	M1	22	29
2	M2以上	0	21



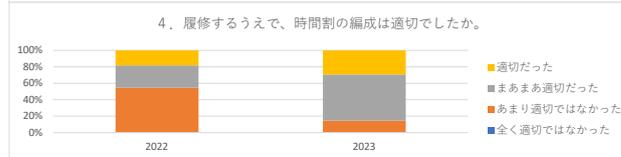
3. 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	全く期待はずれだった	1	0
2	少し期待はずれだった	0	2
3	まあまあ期待通りだった	8	18
4	期待以上だった	13	30



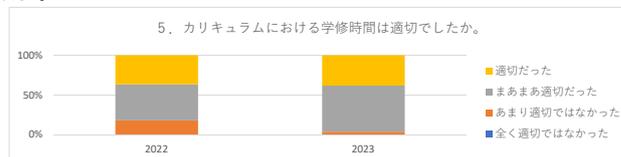
4. 履修するうえで、時間割の編成は適切でしたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	全く適切ではなかった	0	0
2	あまり適切ではなかった	12	7
3	まあまあ適切だった	6	27
4	適切だった	4	14



5. カリキュラムにおける学修時間（授業・レポート等に費やす時間）は適切でしたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	全く適切ではなかった	0	0
2	あまり適切ではなかった	4	2
3	まあまあ適切だった	10	29
4	適切だった	8	19



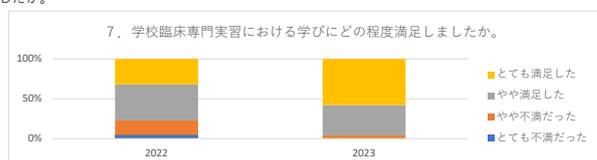
6. 教育課程（カリキュラム）は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新任教員の養成（初任期教員養成コース）並びにスクールリーダーの養成（中核教員・リーダー教員養成コース）を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

選択肢	回答	2022	2023
1	全くそう思わない	0	1
2	あまりそう思わない	1	2
3	ややそう思う	10	23
4	とてもそう思う	11	24



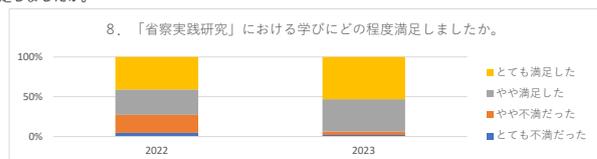
7. 年間を通じて、学校臨床専門実習における学びについて、どの程度満足しましたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	とても不満だった	1	0
2	やや不満だった	4	2
3	やや満足した	10	19
4	とても満足した	7	29



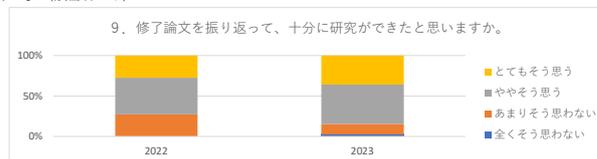
8. 研究という視点から、「省察実践研究」における学びについて、どの程度満足しましたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	とても不満だった	1	1
2	やや不満だった	5	2
3	やや満足した	7	20
4	とても満足した	9	26



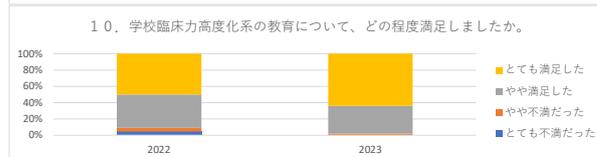
9. 修了論文に対する取り組みを振り返ったとき、十分に研究ができたと思いますか。（該当者のみ）

選択肢	回答	2022	2023
1	全くそう思わない	0	1
2	あまりそう思わない	3	5
3	ややそう思う	5	19
4	とてもそう思う	3	14



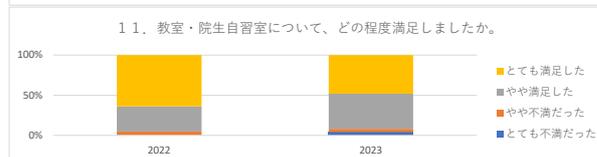
10. 学校臨床力高度化系の教育について、どの程度満足しましたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	とても不満だった	1	0
2	やや不満だった	1	1
3	やや満足した	9	17
4	とても満足した	11	32



11. 教室・院生自習室について、どの程度満足しましたか。

選択肢	回答	2022	2023
1	とても不満だった	0	2
2	やや不満だった	1	2
3	やや満足した	7	22
4	とても満足した	14	24



学校臨床力高度化系アンケートの結果

◆各設問平均得点の経年比較

設 問	2022	2023
Q 3. 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。	3.50	3.57
Q 4. 履修するうえで、時間割の編成は適切でしたか。	2.64	3.15
Q 5. カリキュラムにおける学修時間（授業・レポート等に費やす時間）は適切でしたか。	3.18	3.34
Q 6. 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新入教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。	3.45	3.40
Q 7. 年間を通じて、学校臨床専門実習における学びについて、どの程度満足しましたか。	3.05	3.54
Q 8. 研究という視点から、「省察実践研究」における学びについて、どの程度満足しましたか。	3.09	3.45
Q 9. 修了論文に対する取り組みを振り返ったとき、十分に研究ができたと思いますか。（該当者のみ）	3.00	3.18
Q 10. 学校臨床力高度化系の教育について、どの程度満足しましたか。	3.36	3.62
Q 11. 教室・院生自習室について、どの程度満足しましたか。	3.59	3.36

（参考）2023 年度初任期 M2 のみの経年比較（M1→M2 での変化）

設 問	2022	2023
Q 3. 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。	3.38	3.68
Q 4. 履修するうえで、時間割の編成は適切でしたか。	2.62	3.06
Q 5. カリキュラムにおける学修時間（授業・レポート等に費やす時間）は適切でしたか。	2.92	3.42
Q 6. 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新入教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。	3.46	3.42
Q 7. 年間を通じて、学校臨床専門実習における学びについて、どの程度満足しましたか。	3.00	3.47
Q 8. 研究という視点から、「省察実践研究」における学びについて、どの程度満足しましたか。	2.92	3.32
Q 9. 修了論文に対する取り組みを振り返ったとき、十分に研究ができたと思いますか。（該当者のみ）	—	3.26
Q 10. 学校臨床力高度化系の教育について、どの程度満足しましたか。	3.31	3.68
Q 11. 教室・院生自習室について、どの程度満足しましたか。	3.69	3.79

◆全体を通して

- 昨年度（改組 1 年目）と比べると、多くの設問で評価が向上している。初任期 M2 の経年比較も同様で、改組 2 年目にあたる 2023 年度の教育の成果は一定見受けられる。あるいは、2 年間のカリキュラムを通じた初任期 M2 の意識の変化が肯定的に影響している（2 年間を通して見えてくるものがある？）とも言える。しかし一方で、カリキュラムの目的合理性と設備の満足度に関してはやや低下している。
- カリキュラムが教育目的に対して適切であったかという点については、自由記述を見る限りでは、たとえば初任期における模擬授業ベースの指導やグルーピングの在り方であったり、学生のニーズと授業ラインナップとのマッチ具合であったり、省察や実習の進め方であったりと、改善の余地は多く残されている。中でも模擬授業については院生協議会アンケートでも否定的意見が出ており、強い不満を抱えている学生がいることが確かである。しかしながらもっと実施してほしい旨の記述も一部ある。多様な実践指導の形態を検討していきたい。
- 設備の満足度については不満が見られる。機材の不調については定期的な確認と改善が必要である。院生自習室の使い方については院生協議会アンケートと同様の声が聞かれており、共同で利用する場所であるという意識が確かなものとなるよう、院生自治の観点も踏まえ指導していく必要がある。